



薬剤部

～情報～

2020年12月



11月の新規採用薬品

グラクティブ錠50mg

糖尿病用剤

小野薬品工業

【効】 2型糖尿病

【用】 【副】 添付文書参照



11月の採用薬品（院外処方専用薬品）

ツムラ苓桂朮甘湯エキス顆粒（医療用）

漢方製剤

ツムラ

【効】 めまい、ふらつきがあり、または動悸があり尿量が減少するものの次の諸症：神経質、ノイローゼ、めまい、動悸、息切れ、頭痛

【用】 【副】 添付文書参照



11月の採用薬品（特定個人薬品）

エスポー皮下用24000シリンジ

ヒトエリスロポエチン製剤

協和キリン

【効】 1. 腎性貧血

2. 貯血量が800ml以上で1週間以上の貯血期間を予定する手術施行患者の自己血貯血

【用】 【副】 添付文書参照



デュピクセント皮下注300mgシリンジ

ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体

モノクローナル抗体

サノフィ

【効】 ○既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎

○気管支喘息（既存治療によっても喘息症状をコントロールできない重症又は難治の患者に限る）

○鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎（既存治療で効果不十分な患者に限る）

【用】 <アトピー性皮膚炎>：通常、成人にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。

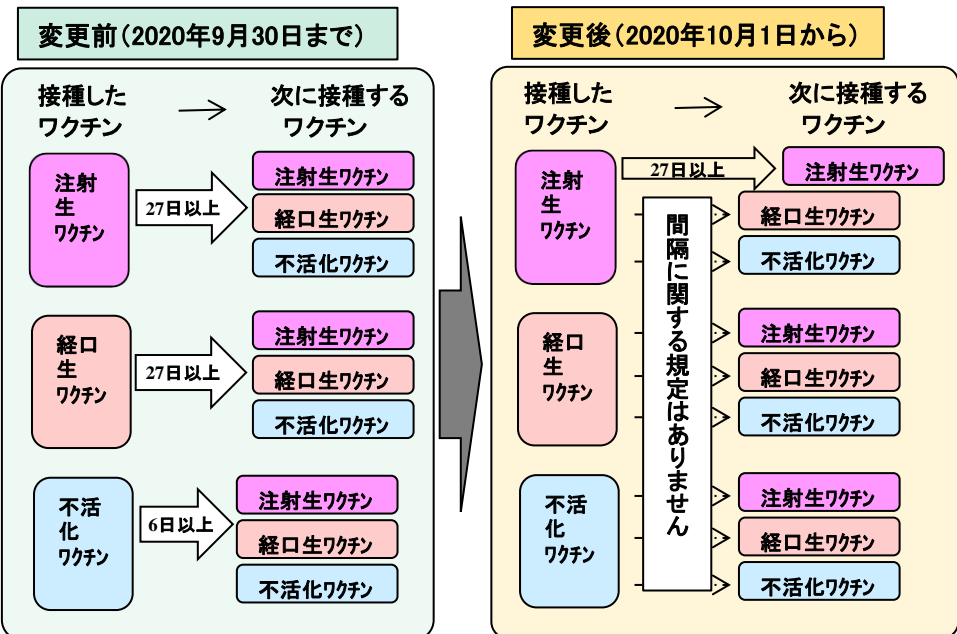
<気管支喘息>：通常、成人及び12歳以上の小児にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として初回に600mgを皮下投与し、その後は1回300mgを2週間隔で皮下投与する。

<鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎>：通常、成人にはデュピルマブ（遺伝子組換え）として1回300mgを2週間隔で皮下投与する。なお、症状安定後には、1回300mgを4週間隔で皮下投与できる。

【副】 添付文書参照



<<<異なるワクチンを接種する際の接種間隔の変更について>>>



（注意）**変更なし**
 ※特に医師が認めた場合、同時接種を行うことができます。
 ※同一のワクチンを複数回接種する場合の接種間隔については添付文書等の規定に従ってください。

採用区分変更薬品

オキシコンチン錠5mg（麻薬）	注文薬品	→	削除薬品
ジャヌビア錠50mg	常備薬品	→	削除薬品

【各ワクチンの分類】（赤字は院内採用薬品）
 ●注射生ワクチン・・・BCG・MR・麻しん・風しん・水痘・おたふくかぜ
 ●経口生ワクチン・・・ロタウイルス
 ●不活化ワクチン・・・Hib・肺炎球菌（ニューモバックスNP）・四種混合・不活化ポリオ・日本脳炎・二種混合（DT）・ヒトパピローマウイルス（HPV）・インフルエンザ等